

学校運営協議会 議事録

校名	府立 東淀川 高等学校
校長名	森瀬 康之

開催日時	令和 5 年 11 月 21 日(火) 14:30~17:00
開催場所	大阪府立東淀川高等学校 会議室
出席者(委員)	松宮 新吾 委員長 瀨名 猛志 委員 土井 由加利 委員
出席者(学校)	森瀬校長 山田事務長 福島教頭 尾崎教務部長 長谷川進路部長 渡辺保健部長 田淵総務部長 寺西情報部長 大見学年3学年主任 塩田第1学年主任 楊多文化主任
傍聴者	なし
協議資料	令和 5 年度、学校経営計画、 各分掌・学年からの進捗状況報告シート
備考	

議題等(次第順)

- ・授業見学結果について
- ・デジタル採点の導入
- ・英語検定試験
- ・新課程の実施と観点別評価について
- ・合同部活動の実施状況、
- ・IT機器活用状況
- ・働き方改革
- ・協議 上記を中心に

機器も活用した先進的な取り組みを

- ・授業見学の結果  
日ごろ関わりのない運営協議会委員にも声をかけてくるなど、生徒と先生の間フレンドリーな関係が感じられた。
- 【学校から】
- デジタル採点の導入に向けて準備を進めている。二学期期末考査から試行的に使用する教員がいる。
- 英語検定試験について、保護者向け進路説明会でも受験を推奨、校内で準1級など受験対策講座を行っている。
- 合同部活動等について、水泳部をはじめ4クラブで土日に合同部活動を実施している。商業施設から自転車を寄贈していただき、合同部活動の対象校との移動に活用予定である。他にダンス部が全国大会に出場するなど、部活動において活発な取り組みをしている。
- 働き方改革について、クラウド情報サービスを活用し、円滑な情報伝達に務めている。また、将来構想委員会を定例で開催し、業務改革についての検討を行っている。
- 事務局(分掌・学年・多文化共生推進委員会・首席)から、今年度の進捗状況を説明した。主な内容として、
- 第一学年  
・進路行事では教員の人生経験を伝える取り組みを行っている。生徒としっかり関わり「学校は楽しいところ」と感じてもらうことを大切にしている。
- 第二学年  
・生徒の意識が「自分が楽しむ」から「まわりを楽しませる」へと変化しており、成長を感じる。
- 多文化共生推進委員会  
・日本語指導が必要な生徒選抜による入学生が、学年集会において、学年の生徒全員に対してのスピーチをして、表現力を伸ばす取り組みを行っている。また、日本語指導が必要な生徒を実施する学校として情報発信するために、多数の取材を受けている。
- 【委員から】
- 第一回学校運営協議会での提案にすぐに取り組むなど、学校の対応力が高い(「打てば響く」)
- 外国から日本に来て次年度高校に入学する生徒が急増している。外国からの入学生に対して、ICT機器を活用しながら、先進的な取り組みをしていただきたい。

令和 6年1月30日(火)